リーフレットを活用するための指導の手引

このリーフレットは、特別活動や総合的な時間などにおいて、北海道で発生した津波被害について理解を深め、津波による災害に対し、日頃から自分の安全を確保するために、どのようなことが必要かを話し合うなどして、生徒自らが防災意識を高めることをねらいとしています。

指導のポイント！

日本は地震が多く、その後に発生した津波によって度々大きな被害を受けています。北海道でも幾度か津波の被害を受けており、特に、平成５年の北海道南西沖地震後に津波により多くの人命が失われたことを奥尻町消防署職員 三浦浩氏の講話原稿を活用して理解させます。

もっと詳しく！

中央防災会議の「災害時の避難に関する専門調査会」（内閣府）に設置された「津波防災に関するワーキンググループ」の資料「資料２ 主な津波被害」には、過去の津波被害、避難状況とその問題点、今後、想定される主な津波と被害などについて掲載されています。

専門調査会 津波防災 ［検索］

北海道南西沖地震の記録や奥尻町における地震・津波対策については、奥尻町のウェブページ「防災・救急」で紹介されています。

奥尻町　防災・救急 ［検索］

指導のポイント！

東北地方で古くから伝わる「津波てんでんこ」という言い伝えを参考に、津波が起きたらどのように行動するべきかについて理解させます。

もっと詳しく！

津波から命を守る言い伝えには、自らの命に責任をもつこと、家族との信頼関係を築くことの大切さが込められており、釜石市の中学生は、東北地方太平洋沖地震が発生した直後に、率先して避難し、約 3000 人の児童生徒が津波から自らの命を守りました。

詳しくは、文部科学省の「安全・安心科学技術委員会」（第 28 回）の資料１（群馬大学 片田敏孝教授）を参照。

安全・安心科学技術 第 28 回 ［検索］

指導のポイント！

津波の押し寄せるスピードや破壊力など津波の危険性について理解を深めます。

もっと詳しく！

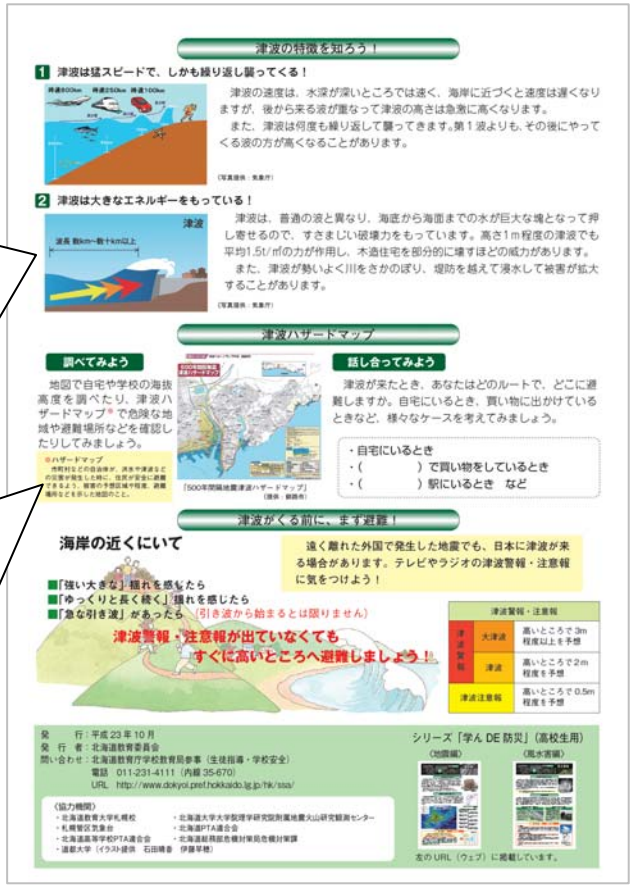
津波発生の仕組みや津波の特徴は、気象庁のウェブページ「よくある質問集」でわかりやすく紹介されています。

気象庁　津波について ［検索］

また、「政府インターネットテレビ」の番組「51ch　防災チャンネル」では、津波のもつ威力をＶＴＲで解説しています。

・番組「津波の怖さ知ってますか？」
・番組「津波の発生する仕組み」

政府インターネットテレビ ［検索］



指導のポイント！

津波が発生したときの具体的な対応や日頃の備えについて、家族で話し合い、生徒や保護者の防災意識を高めます。また、話し合った内容を学級で交流し、危険回避能力の向上を図ります。

津波の危険を感じたら、海から離れ、速やかに高い場所へ避難するよう指導します。また、津波ハザードマップなどで避難場所や避難経路を調べるときは、想定される浸水範囲にとらわれず、より安全な避難場所や避難経路を複数考えさせます。

もっと詳しく！

「政府インターネットテレビ」の「徳光＆木佐の知りたいニッポン！～想定外の災害に備えて あなたと家族を守る 減災」の番組では、群馬大学の片田敏孝教授が釜石市の津波防災教育における避難の３原則「想定にとらわれるな」「最善を尽くせ」「率先避難者たれ」などについて説明しています。

想定外の災害に備えて ［検索］